

予算決算常任委員長報告

平成26年9月29日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案16件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る9月5日及び9月16日から25日までの計8日間にわたり委員会を開催し、審査初日には、委員会での初めての取組として、市長の出席を求め、会派代表による決算に関する総括質疑を行いました。各議案の審査においては、担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

先ず、決算認定に関する議案11件について申し上げます。

議案第84号「平成25年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」外議案10件については、いずれも全員一致をもって認定してよいものと決しました。

決算審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

議案第84号に関して、自治活動支援交付金は、現在、一律5%削減され住民自治組織へ交付されているが、それぞれの組織は、多様な活動を多岐に渡り、独自に行っているため、今後は、各組織の活動実態に見合う交付額とされたい。

次に、保育所の臨時職員は、正職員と同等の責任を持って勤務をされている実態も見受けられる。責任範囲を明確にするとともに、職責に応じた賃金を確保されたい。

続いて、補正予算に関する議案5件について申し上げます。

議案第95号「平成26年度三次市一般会計補正予算（第2号）（案）」については、審査の結果、賛成多数をもって可決してよいものと決しました。

次に、議案第96号「平成26年度三次市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）（案）」外議案3件については、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

補正予算審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主

なものを申し上げます。

議案第95号の、農業交流連携拠点施設整備事業に関して、現在、出荷会員を募集中であるが、応募が少なく、地元野菜や果物、その他の産直品が通年的に安定供給されるのか懸念される。半年後のオープンを間近に控え、多くのお客様が訪れ交流と連携が成される施設を目指すため、残りの期間、出荷会員の拡大等に最大限の努力をし、一日も早い体制を確立していただきたい。

次に、プレミアム付き商品券に関して、この事業は地元商工業者からの熱い要望に基づき実施されるものであるが、地元経済を下支えする意味からも、早い段階から行政が主体的に立案すべきものであったと考える。この事案も含め、行政が出来ることは政策として、積極的に実施していただきたい。

以上、述べました事項のほか、委員会において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後、十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。